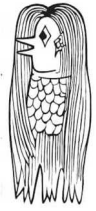


# ハート・プラス通信



身体内部に障害  
があります



ハート・プラス  
http://www.normanet.ne.jp/~h-plus/  
Copyright © 2007 heart plus mark project. All right reserved.

～内部障害者・内臓疾患者の暮らしについて考える～

2021年 3月20日 No.52<冬号>

【配信元】NPO法人 ハート・プラスの会

【住所】大阪府寝屋川市秦町41番1号市民活動センター内

【連絡先】事務局 E-mail : info@heartplus.org 携帯電話 : 080-4824-9928

【ホームページ】http://www.normanet.ne.jp/~h-plus/



一般社団法人神奈川県バス協会企画製作のポスターが神奈川中央交通などの公共交通のバス車内に掲示して周囲に協力の呼びかけを促しています。

神奈川県

公共交通機関で見かけたハート・プラスマーク

みんなの声

会員さんがお出掛けした時に見かけたハート・プラスマークを写真に撮って戴きました。  
あなたの町にもハート・プラスマークがあるかも知れません。  
見つけたら事務局までお知らせ下さい



一般社団法人横浜市交通局協会の企画による車内マナーポスターコンクールで小学生が描いた入選作品が横浜市営地下鉄の車内ポスターに掲示。

神奈川県



和歌山県  
昨年十一月撮影。和歌山県のJR紀伊勝浦駅の外部待合室に横約70センチ縦1メートル位の大きなポスターが掲示されていました。三年前にも掲示されていました。

記 石川康美



千葉県  
社会福祉法人 松戸市社会福祉協議会 ボランティアセンター内にハートプラスポスターを掲示。

## 活動報告

### 「パネル展展示参加(奈良県)」

コロナウイルス禍ではあります、毎年恒例の「奈良市ボランティアインフォメーションセンター」でのパネル展に参加しました。

期間は、1月16日～2月13日の4週間でした。

いつも通り、啓発用に配っているチラシを拡大したポスターと「ハートプラスマーク」を知っていますか?」のポスターを展示しました。

同時に「あつたらいいな・心のチラシと三つ折りの「内部障害って何だろう?」のリーフレットも配りました。

コロナウイルス感染予防の為、ミニ交流会は開催出来ませんでした、早くコロナウイルス騒ぎが治まるのを祈ります。

記・岩井伸文



パネル展の展示風景

## 特集

### 「ハート・プラスマークは消えてしまったの?」

ハート・プラスマークが2003年に誕生して今年で18年目になります。

当会の発足当初は、とにかくこのマークを広く普及させたいとの強い思いから、あらゆる機会を通じて広報に努めてきました。最初は、多くの方の共感を得て、マスコミで取りあげてもらえるようになり、国会や地方議会でも紹介されるようになりました。爆発的な広がりにはなりましたが、少しずつ認知も広がって行きました。

### ヘルプマークとの違い

ところが、2012年に東京都が作成した援助や配慮を必要としている人のマークである「ヘルプマーク」が発表されて以来、全国に広がり、今では全国の道府県でヘルプマークやヘルプカードの運用が始まっています。当会の会員の皆様もお使いの方は多いと思います。

そして、一時期同じような意味のマークが乱立しているのが統一したほうがいいのではないかと、新聞記事が出たこともあり、私は、この件については何度か言及してきましたが、決してヘルプマークと張り合うようなことをしたいわけではありませぬ。そもそも、マークの意味が違うので、「同じような」と言うのは厳密には正しくはなく、ハート・プラスマークはあくまで内部障害者を表わしたマークであるということは昔

も今も何も変わっていません。つまり「助けてください」のマークではないということなんです。

私は、当会がまだ任意団体の頃から参加しているわけではないので、草創期の人達とは多少考え方が違うのかもしれませんが、会の最大の目的は当時全くその存在や名前すら知られていなかった「内部障害者」というものを多くの人に知ってもらって理解してもらうことだと考えています。これについてはかなり浸透したのではないかと思います。

さて、ヘルプマークの台頭で、もうハート・プラスマークは消えてしまったのだろうかと思われる方もいるかもしれませんが、実は、以前より増してハート・プラスマークはいろいろなところで使われているのです。

### マークの掲載実績

表1に示すのは、昨年1年間に、当会に連絡があったマーク掲載の実績の一覧です。

どうかというところで使われているのか?これを見ていただければわかるように、採用されている媒体もその目的も様々で、以前のようにただただマークだけを紹介するというものではなくなっていることがよくわかります。

この中で、いくつか特徴的なものをあげると、ひとつは子供たちの教育用の教材や資料として使われているものが全体の2割を占め

ています。学校教育の場の学びのひとつとして内部障害を取り上げてもらえることは当会の今後の活動方針にも合致しており大変有用だと考えています。

また、介護福祉士の国家試験を受ける人の参考書にもあるように、試験問題としてハート・プラスマークの意味を問うようなことが実際にあるというのは驚きでもありました。

### SDGsに取り込まれる

それと、ここ最近よく目にする「SDGs(持続可能な開発目標)」の啓蒙に関する図書や冊子で紹介されているというところは、SDGs達成のための17のゴールの中に、内部障害者というものが認識されているということであり大いに歓迎すべきことだと思っております。加えて、こういう世界的な取り組みの中に、内部障害者が意識される社会になってきたことに喜びを感じます。これまで、当会に対してハート・プラスマークの掲載・使用の許可申請を細かに見るようなことはしていませんでしたが、こうやってたまたま1年間ではあります、整理したうえであらためて見てみますと、感慨深いものがあります。

ハート・プラスマークが出来て10年ぐらいは、同様のマークがなかったために、多少物珍しさもあったのか多くの媒体で取り上げていただきました。しかしその大部分は、こういうマークがあるという



しかし、最近の傾向は「福祉」から「教育」の分野に変わってきたと実感しています。マークを認知することはもちろんの事、その意味である内部障害者というものを理解していかうという傾向が高まってきたということを思う時、ハート・プラスマークの存在はヘルプマークの影に隠れて薄くなってきたように感じますが、本来の目的である内部障害者への理解に対してはこの社会の中で着実に浸透してきていることがうかがえます。

これからも、このハート・プラス通信の紙面においてハート・プラスマークの使用例を紹介させていただきます。近で実例を見かけたいという方があれば少しは喜んでいただけるのではないかと期待しています。

記 鈴木英司

### 福祉から教育へ

紹介の仕方でも、多くの自治体もホームページで紹介するとか、障害者手帳交付時に渡す障害者の葉に掲載するぐらいのものでした。要するに、内部障害者というより、ハート・プラスマークが前面に出た施策つまり、「福祉」の場でのマーク使用が専らだったわけです。

表1 ハート・プラスマーク紹介一覧

月	採用・掲出元	区分	掲載内容
1月	内閣府	国	令和2年度障害者白書において障害者に関係するマークの一例
	宮城県仙台市	自治体	せんだいふれあいガイド
	(株)CS	出版関係	公開経営指導協会の「レジスペシャリスト養成講座リーダー編」のテキスト
	茨城県教育庁	自治体	人権教育に関わる人権啓発資料
	(株)SC社	出版関係	子供向け書籍「心のバリアフリー」
	京都リビング新聞社	新聞社	「リビング京都」の配慮が必要なマークの特集
	東京都台東区役所	自治体	「心のバリアフリーパンフレット」
	全国社会福祉協議会	公共団体	障害の理解促進に向けたパンフレット
	J社	出版関係	家庭科の教科書
	栃木県教育委員会	自治体	障害者に関する資料
2月	千葉県八街市	自治体	障害者用駐車場(リメイク)
	愛知県瀬戸市	自治体	「広報せと」4月1日号
	外務省	国	外務省障がい者職員採用パンフレット
3月	UC社	印刷業者	東京都総務局作成「帰宅困難者対策ハンドブック」
	M社	印刷業者	神奈川県バス協会のポスター
	福岡県北九州市	自治体	令和2年度半「障害福祉ガイド」
	K社	出版関係	パラサポWEB「SDGs時代の新常識!? このマークを見かけたら、何をすべき？」
4月	C社	出版関係	「介護福祉士合格テキスト'21年版」他2点
	北九州市難病相談支援センター	公共団体	支援センターのfacebook
	岐阜市教育文化振興事業団	公共団体	岐阜市中央青少年会館 他4施設に啓発ポスター掲出
5月	M生命保険(株)	企業	社員向け資料「障がい者対応ガイドブック」
	K出版社	出版関係	SDGs関連の書籍
	東京都中央区	自治体	冊子「障害者のための窓口案内」
	千葉県柏市社会福祉協議会	公共団体	福祉教育のリーフレット
	兵庫県神戸市	自治体	冊子「障害者福祉のあらし」
6月	千葉県船橋市	自治体	「障害福祉のしおり」
	国土交通省北海道開発局	国	道の駅の駐車場にサイン表示

7月	北海道身体障害者福祉協会	公共団体	ハート・プラスマークカードを配布
	広島県	自治体	「障害のある人びとの福祉2020」
	日本サポートマーク普及協会	公共団体	パンフレット・ホームページに掲載
8月	中日新聞	新聞社	小中学生向け「中日こどもウイークリー」
9月	足立区障がい福祉センター	自治体	ポスター・ちらし・ホームページに掲載
	兵庫県福崎町	自治体	障害者週間にポスター掲出・チラシ配布
	B社	印刷業者	セブン・イレブンのインナー冊子(オーナー・従業員向け 2万部発行)
10月	東京都西東京市	自治体	広報誌
	東京都福祉保健局	自治体	障害者週間・普及啓発ポスター(電車内広告・区市町村・学校等に配布)
	S社	出版関係	「新・基礎の学習 国語」
11月	石巻市・女川町基幹相談センター	自治体	子供向け 障害者に関するマークをクリアファイルに印刷し配布
	O社	出版関係	ほるぷ出版「マークで学ぶSDGs」(小中学校図書館)
	東京都東久留米市	自治体	障害者マークを正しくしてもらうためのパネル作成
	足立区障がい福祉センター	自治体	障害者週間の啓発事業としてホームページを作成
	島根県江津市	自治体	市ホームページで障がい者に関するマークを紹介
	F社	出版関係	青森県弘前市「障がい者受入マニュアル」
	宮城県仙台市	自治体	せんだいふれあいガイド
	F社	出版関係	群馬県富岡市「心のバリアフリー」
	横浜市健康福祉局	自治体	「横浜市福祉のまちづくり推進指針」
12月	B社	出版関係	「介護福祉士国家試験をめざす人のための 介護の専門日本語」
	C社	企業	イオンモール「全国防災キャラバン2021」冊子



岐阜市中央青少年会館でのポスター掲示

各自治体でよく紹介して載っているマークの一覧（障害者のしおりの一ページ）

マーク・名称	マークの意味	関係機関
 <p>盲人のための国際シンボルマーク</p>	<p>世界盲人連合（WBU）が1984年10月にサウジアラビアのリヤドで開催した設立総会で採択したものです。このマークは、視覚障害者の安全やバリアフリーを考慮した建物・設備・機器などにつけられている世界共通のマークです。信号機や音声案内装置、国際志字郵便物、書籍・印刷物などに設置・添付されています。このマークの掲載・使用については、右記へお問い合わせください。</p>	<p>社会福祉法人日本盲人福祉委員会</p> <p>電話 03-5291-7885 (FAX) 03-5291-7885 <a href="mailto:info@idb.or.jp">info@idb.or.jp</a></p>
 <p>耳マーク</p>	<p>聴覚障害のある人で、聞こえが不自由なことを表すマークです。また、自治体、病院、銀行などで掲示することで、聴覚障害のある人から申し出があれば必要な援助を行います。聴覚障害者は、障害そのものが分かりにくいために誤解されたり、不利益をこうむるなど、社会生活上の不安が少なくありません。このマークは、聴覚に障害がある人が自発的に使用するもので、法的拘束力はありません。</p>	<p>一般社団法人全日本聴覚者・申達失聴者団体連合会</p> <p>(ホームページ) <a href="http://www.sennichu.or.jp/">http://www.sennichu.or.jp/</a></p>
 <p>オストメイト/オストメイト用設備マーク</p>	<p>人工肛門・人工膀胱の方（オストメイト）のための設備があることを表しています。オストメイト対応トイレの入口に表示され、排泄物の処理、ストーマ器具の交換・装着、ストーマ周辺皮膚の清拭・洗浄、衣服・使用済み器具の洗浄・廃棄などができるよう配慮がされています。また、オストメイトであることの表示でもあります。</p>	<p>公益社団法人日本オストミー協会</p> <p>電話 03-5670-7681 FAX 03-5670-7682</p>
 <p>ハート・プラスマーク</p>	<p>身体内部（心臓、呼吸機能、心臓、筋力・直腸、小腸、免疫機能、胆臓）に障害がある人を表しています。外見からは分かりにくいので、誤った誤解を受けることがあります。また、電車などの優先席に座りたいといった声を出せず我慢している方がいます。このマークは、身体内部に障害がある人が自発的に使用するもので、法的拘束力はありません。</p>	<p>特定非営利活動法人ハート・プラスの会</p> <p>(ホームページ) <a href="http://www.heartplus.jp/">http://www.heartplus.jp/</a></p>



新型コロナウイルスの影響で当会の事務局が入居している寝屋川市立市民活動センターが閉鎖になり編集活動が停止してしまいました。その為本来ならばこの52号は2月20日に発行する予定でしたが1ヶ月延期とさせていただきます。幸いこの度、緊急事態宣言が解除され活動を再開することが出来ました。しかしまだまだ安心して活動できるような状況ではありません。コロナ禍の前なら交流会を各地で開催するのですがそれもままならない雰囲気です。安心して活動出来るようになります。その時は皆さん元気です分に語り合います。

事務局からのお知らせ